

ごみ減量化の取組方法

- ① 全業種共通
- ② 製造業
- ③ 卸売業
- ④ 事務所・オフィスビル
- ⑤ 小売業
- ⑥ 飲食業
- ⑦ ホテル・旅館
- ⑧ 学校・教育施設
- ⑨ 病院・福祉施設
- ⑩ 駅・遊戯場・文化施設等

3Rを徹底しましょう！

1. Reduce

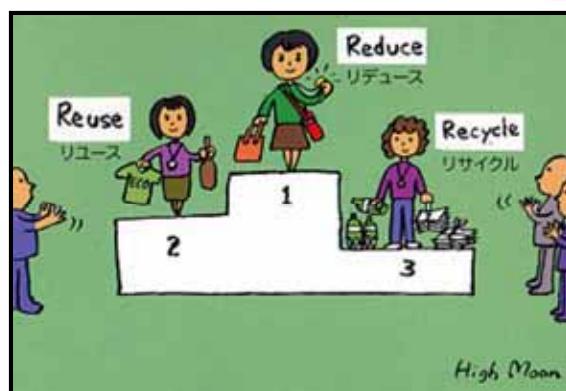
(発生抑制)
物を大切に使い、
ごみを減らす

2. Reuse

(再使用)
物を繰り返し使う

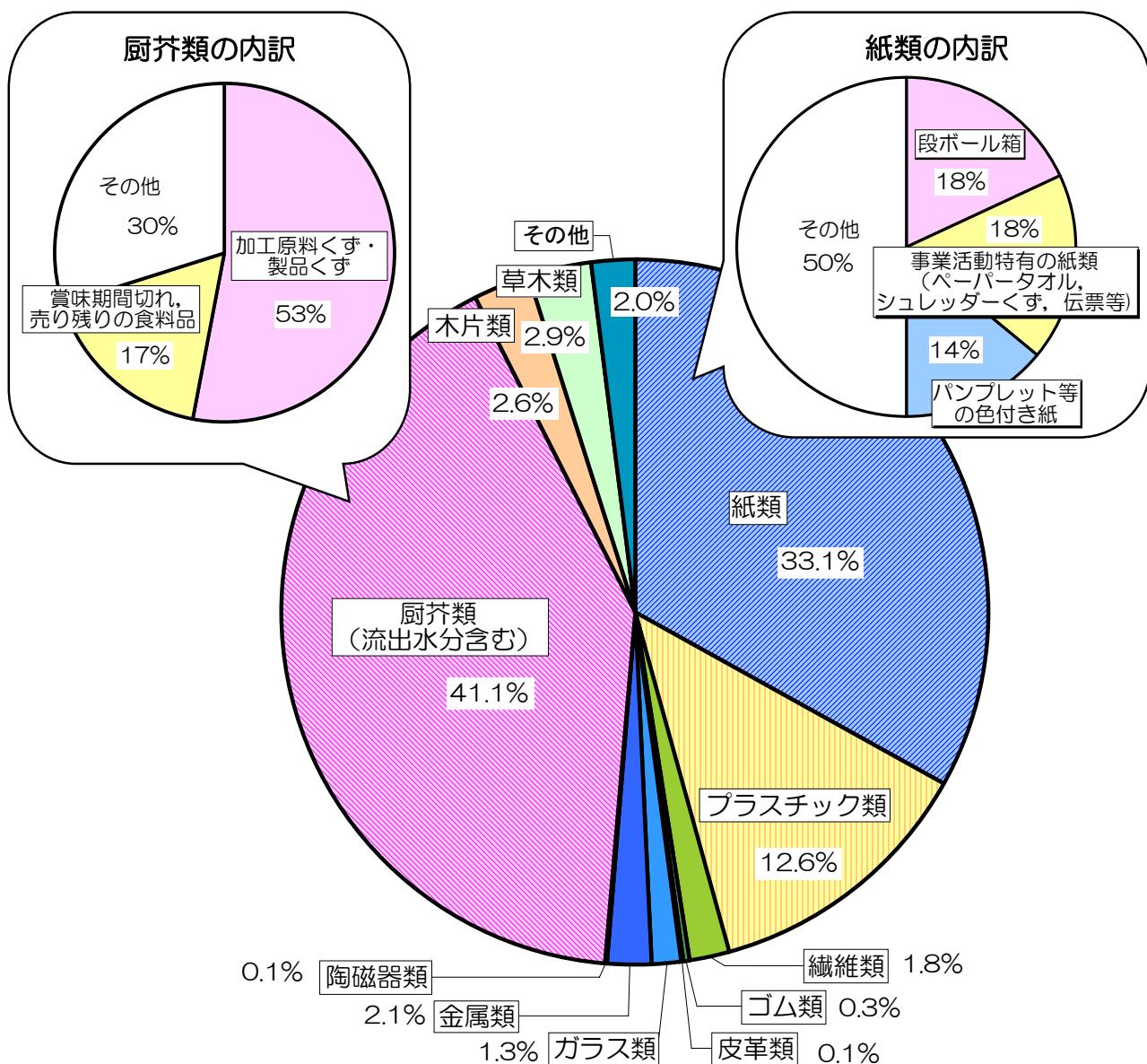
3. Recycle

(再資源化)
再び資源として、
利用する



①全業種共通

ごみの組成（全体）



◎各業種のごみ組成の円グラフは「事業系ごみ減量対策基礎調査結果報告書」(H20.3 京都市環境局)からデータを転載したものです。

注)ごみの組成の円グラフは、京都市のクリーンセンター（清掃工場）に搬入された廃棄物の重量比であり、排出事業所で分別された後、資源化（リサイクル）ルートにて流通しているものは含まれていません。

〔特徴〕

事業所から排出される業者収集ごみの組成は、厨芥類が41.1%と最も多く、これに紙類が33.1%、プラスチック類が12.6%と続いています。

厨芥類の内容は、主として飲食店等から出る加工原料くず・製品くず・食べ残し、スーパー・小売店から出る賞味期限切れ・売れ残りの食料品などです。

また紙類では、段ボール、パンフレット、伝票等が上位を占めており、プラスチック類では食品等の容器包装が最も多くなっています。

実施できている項目については、□にチェックしてください。

1. Reduce リデュース 物を大切に使い、ごみを減らす

① 紙を節約しましょう！

紙は、ほとんどの事業所で日常的に使用され、ごみの中に占める割合も高くなっていますが、使用量の削減には比較的、取り組みやすい品目です。

- 両面コピー、Nアップコピー（Nアップ原稿送り装置を利用して、2枚、4枚、8枚の原稿を1枚にまとめてコピーする機能）の利用を敢行する。
- ミスコピーを防ぐため、コピー機を使い終わったら必ずリセットする。
- 伝票、事務書類、会議資料等を可能な限り電子データ化する。
- 書類は共有ファイルを作成し、個々にコピーを持たないようにする。
- パンフレット、チラシは必要とする量を把握し、最小限の作製とする。
- 紙コップや、トイレでのペーパータオルは使用しない。
- ダイレクトメールを必要最小限とし、不要な消費者への申出窓口を告知する。
- 商品伝票の電算処理システムを導入する。
- 在庫管理をデータベース上で行う。

② 生ごみを減らしましょう！

生ごみ対策は、水切りの徹底

- 生ごみの重量の大半は水分（※）ですから、水切りを徹底することで、かなり減量できます。
※ 食品廃棄物の水分率は80%程度です。
- コスト管理と分析を徹底し、食材の残り、売れ残りの生鮮品、作りすぎた食品、食べ残しの多いメニュー等を減らし、廃棄処分されるものを減らす。

③ 一人ひとりが、ごみの減量に取り組みましょう！

- 食事の際は、マイ箸・マイ食器を使用する。
- 給茶器と湯飲みを設置し、缶・びん・ペットボトルの使用を減らす。
- 個人のごみ箱をなくし、共有化するなどにより、社員が安易にごみを出すのを抑制し、資源化可能なものをごみにしないようにする。

④ 事業所全体で、ごみの減量に取り組みましょう！

- 事務用品は、長期間使用できるものを購入する。
- 冷暖房の温度を控えめに設定し、昼休みなどはこまめに消灯する。
- 3Rの徹底のため、従業員の研修を充実する。
※ 「京都市政出前トーク」を利用する方法もあります。（[テーマ数218](#)）

※ 「京都市政出前トーク」とは、市民の皆さんに市政やまちづくりに関する理解を深めていただく“きっかけ”をつくるため、お聞きになりたいテーマを選んでいただき、担当職員がお伺いしてご説明する制度です。

問い合わせ・申し込み先は

京都市総合企画局政策推進室 TEL 222-3178

●ホームページでも詳しく紹介しています●

<http://www.city.kyoto.lg.jp/sogo/page/0000035248.html>

2. Reuse リユース 物を繰り返し使う

① 物を大切にしましょう！

- ミスコピー紙や片面コピー紙はメモ用紙などに再利用する。
- 使用済みの封筒、ファイル、フォルダーなどは内部連絡の用途に再利用する。
- 備品は、リスト等で使用状況を管理し、職場間で融通しあう。
- 新品でなくてよいものは、中古品での購入も検討する。
- コピー機、パソコンプリンターなどのトナーカートリッジは、再生利用できるものを選択する。
- 耐久性の高い通い箱・パレットの使用など、運搬資材・梱包資材の再使用を推進する。
- 社内リサイクルショップを開催し、不用となった事務用品を他のセクションで新たに使用できるようにする。
- 取扱説明書、保証書、修理依頼先リストなどは大切に保管する。

イベントごみを減らしましょう！！

ちょっと一言

イベントで使用されている使い捨て容器等が、ごみの大量発生を招いています。
～ごみ箱からあふれるごみは、周辺の美観も損ねます。～

主催者は、イベントの実施に当たっては以下の点も考慮してください。

- イベント計画時にごみとなるものを想定し、減量・再使用・リサイクルの方法を事前に検討し、業者を選定する。
- すぐにごみになりやすい、ちらしや啓発物品等は必要数のみ製作し配布する。
- 会場設営時、複数のイベントで資材を共有する。またはレンタル業者などを利用する。
- ごみステーションを設置する。イベントや会場の規模に応じて、ごみステーションの設置場所、設置数を決め、案内表示などを設置し、場所が目につくようとする。
- ごみステーションには、廃液体専用のボックスまたは水きりバケツ（生ごみの発生量の削減）やチラシ・パンフレット等の専用リサイクルボックス（紙くずの発生を抑制）などのほか各種の分別ボックスを用意する。
- ごみステーションに人を配置し、来場者に分別方法を説明し、一緒に分別する。
- 飲食を伴うイベントでは、リユース食器（※）やリサイクル可能な容器を使用する。
- スタッフの弁当は、使い捨てでなく、再使用できる弁当箱を扱う業者などから調達する。

※ リユース食器についての相談：NPO地域環境デザイン研究所ecotone
中京区壬生郷ノ宮町9-13 HAJIME BLD.
Tel 075-205-1433 Fax 075-205-1434

3. Recycle リサイクル 再び資源として利用する

① リサイクルが容易な製品を利用しましょう！

- 複数の素材を組み合わせたものより、単一素材からなる製品を購入・使用する。
- リサイクルを意識した製品を優先的に購入・使用する。
- 自社で大量に排出される不用物は、リサイクルが容易となるものを選び、メーカー等と協力してリサイクルルートの構築を図る。

② リサイクル商品を利用しましょう！

リサイクル製品の需要が少ないと製品化が進まず、技術力の向上も期待できません。また、積極的に利用することが、社員・顧客の皆さんへのリサイクル意識の高揚にもつながります。

- 事務用品やトイレットペーパーなど再生品を購入し、使用する。
- OA用紙・印刷物には再生紙を購入し、使用する。
- 制服等の被服は、リサイクル素材の製品を採用する。

③ リサイクルに協力しましょう！

- びん、缶、ペットボトルなどのリサイクルルートが確立されているものは、リサイクルボックス等を設置し、分別排出できる環境を整える。
- 分別排出されたリサイクル可能物は、納入業者に引取ってもらうか、もしくは廃棄物許可業者に資源化物として引渡す。

④ 紙をリサイクルしましょう！

分別を徹底し資源化する。

- 古紙は新聞、雑誌、段ボール、雑紙（OA用紙、包装紙、封筒など）に分別し、質の高い資源化を心がける。
- 分別した紙類に禁忌品(窓のついた封筒、ビニールコート紙、紙コップなどのワックス加工紙、油紙、写真、合成紙、防水加工紙、裏カーボン紙、紙以外のもの)などが混ざらないように注意する。
- 秘密書類については、シュレッダーにかける必要があるか検討して、社内の基準を設け、なるべくシュレッダー処理は抑える。
(シュレッダーでミリカットするとリサイクルが困難になります)

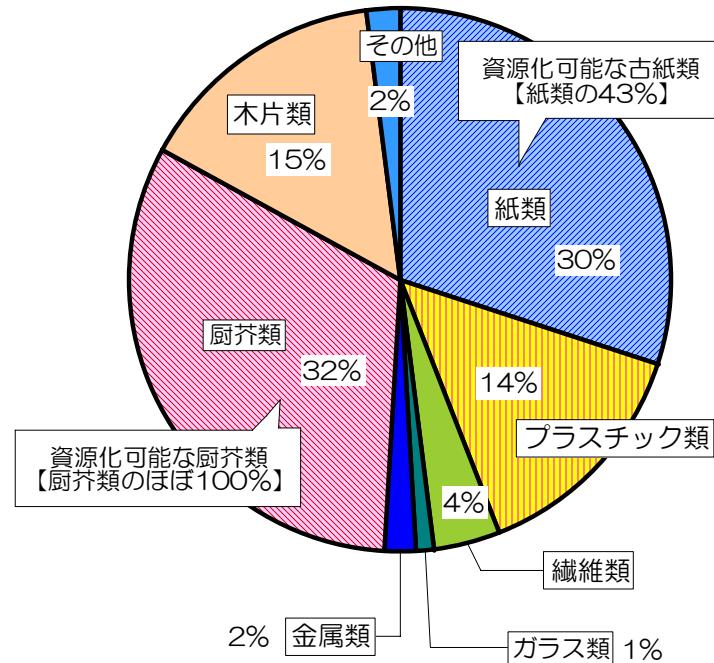
⑤ 食品廃棄物を資源化する！

食品関連事業者は、食品リサイクル法（P21 参照）によりリサイクル等の実施率目標が定められています

- 分別した生ごみの中に金属、ビニール、串などの異物が混入しないように注意する。
- 生ごみは、自社に資源化装置（コンポスト容器・電動生ごみ処理機）を設置する。
- 食品廃棄物許可業者（P43 参照）を通じ、食品廃棄物再生事業者（P41 参照）へ引き渡す。
- 廃食油は、資源化業者に引き渡す。⇒BDF（バイオディーゼル燃料）・石鹼・堆肥
- 魚アラは、リサイクルできます（P42 参照）。魚アラリサイクルセンターでは、魚アラから飼料を製造しています。

② 製造業

【製造業のごみ組成】



〔特徴〕

- 他業種より木片類が多くなっていますが、業種によりごみの組成は大きく異なります。
- 紙類・厨芥類などを分別し、リサイクルすることにより焼却されるごみの量を大きく減少させることができます。
- 製造工程から出るごみの多くは**産業廃棄物**に該当します。これらは産業廃棄物として適正に処理してください。

1. Reduce リデュース 物を大切に使い、ごみを減らす

① 商品の製造段階で、ごみを減らしましょう！

製造業の皆さん方が、商品の「製造段階」から、ごみの減量に取り組むことで、社会全体にも大きなごみ減量の効果が現れます。

- 省資源、省エネルギーに配慮した製造工程を採用する。
- 不良品の発生率の低下、過剰納入の自粛、未使用原材料の有効利用に取り組む。
- 容器の軽量化・コンパクト化を実施し、使用資源の削減を図る。
- 複数が1セットになった製品の、セット内個別包装を行わないようにする。
- 製品を製造する上で出た副産物、端材等を原材料化して再び加工材とする。

② 長く使用できる製品を製造・開発しましょう！

- 耐久性が高く、修理が容易な製品を製造する。
- 詰め替え商品・長寿命製品・消耗した部分だけ取り替えられる商品を開発する。
- 製品の修理に関するサービスを充実する。
- 修理用部品を半永久的に供給し、そのPRに努める。

2. Reuse リユース 物を繰り返し使う

① 自社の製品等をリユースしましょう！

- 自社製品を回収・修理し、「リユース製品」として販売する。
- 部品の規格を統一し、修理に伴うリユース部品の使用を容易にする。
- 詰め替え可能な商品の生産促進を図る。

3. Recycle リサイクル 再び資源として利用する

① 再資源化しやすい製品を製造しましょう！

- 再資源化が容易な素材、構造で製品を製造する。
- 自社製品の回収再資源化システムを構築する。
- 原料に再生資源を積極的に利用する。
- リサイクルに関する技術開発を推進する。

② 消費者にリサイクルをPRしましょう！

- 取扱説明書等に製品のリサイクルされる部位を明記する。
- 製品にリサイクルのPR文書等を付記する。

■ 一口メモ ■

～こんな事例もあります～

【弁当等食品製造事業者】

- ◆ 製造ロスを抑えるため、ユーザー注文予定数の精度を高めて予測をしています。
- ◆ ユーザーへのアンケート調査によって、メニューを改善し、食べ残しを減らしています。

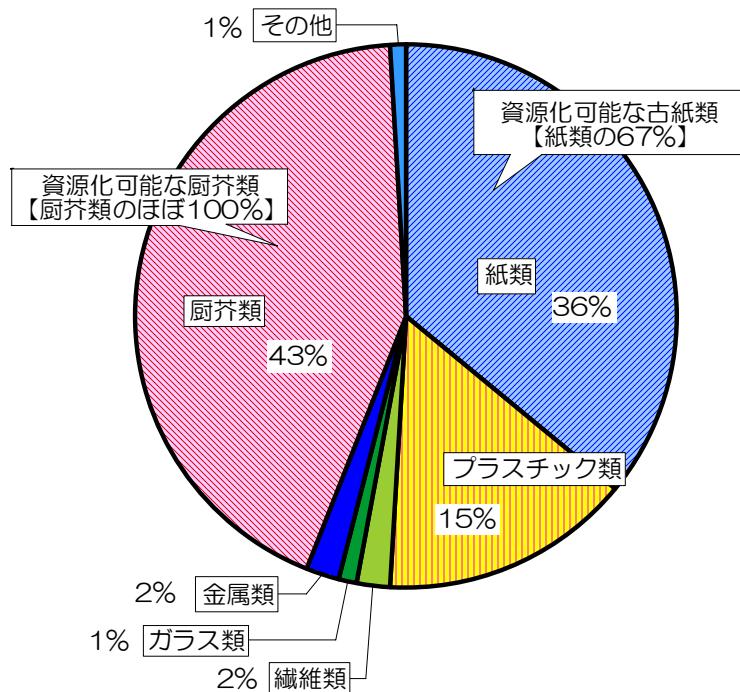
【社員食堂】

- ◆ ご飯の量を減らし、おかわり自由のおひつを各テーブルに置いています。



③ 卸 売 業

【卸売業のごみ組成】



〔特 徴〕

- 紙類が 36%を占めていますが、そのうちの 2/3 が資源化可能な古紙類です。
- 厨芥類は、ごみに占める割合が 43%ですが、そのほぼ全量が資源化可能ものです。

1. Reduce リデュース 物を大切に使い、ごみを減らす

- 過剰包装とならないように包装・梱包材は最低限のものとする。
- 包装・梱包材は、端材が発生しないよう工夫して使用する。
- テープ類の使用は必要最小限に抑える。
- 商品伝票の電算処理システムを導入する。
- 在庫管理をデータベース上で行う。

2. Reuse リユース 物を繰り返し使う

- 耐久性が高く、繰り返し使用できる梱包・緩衝材等の出荷用資材を購入する。
- 出荷先から出荷用資材を回収し、再利用する。

納品用に繰り返し使用できる
プラスチック製ケース
(通い箱)です。

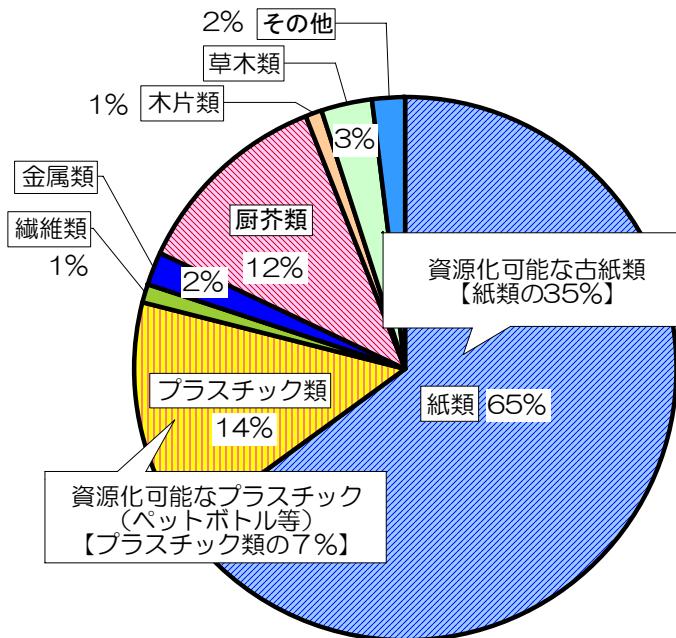


3. Recycle リサイクル 再び資源として利用する

- 出荷用資材等は、単一素材のものを選択・購入する。
- 紙製品へのテープ類の貼付を控え、貼付した場合は、必ずはがす。
- テープ類・梱包材等は、リサイクル品を優先的に購入し使用する。

④ 事務所・オフィスビル

【事務所・オフィスビルのごみ組成】



〔特徴〕

- 紙類が65%を占めており他業種に比べ多くなっていますが、その中で1/3が資源化可能な古紙類です。
- 紙類をさらに分別し、リサイクルすることにより、焼却されるごみの量を大きく減少させることができます。

1. Reduce リデュース 物を大切に使い、ごみを減らす

- コピー用紙の使用量抑制に取り組む。
(両面コピーの励行、文書の共有、電子メールの活用によるペーパーレス化など)
- 事務用品の購入にあたっては、その必要性を十分検討した上で、無駄な在庫を持たないようにする。
- 弁当は、食べ終わった容器を持ち帰る。給食弁当を活用する。

2. Reuse リユース 物を繰り返し使う

- 不用となった事務机などは、他の部署などで再使用する。

■ 一口メモ ■

不用品や廃材など、まだ使えそうなものをストックする場所を用意し、再利用する環境を整えましょう。

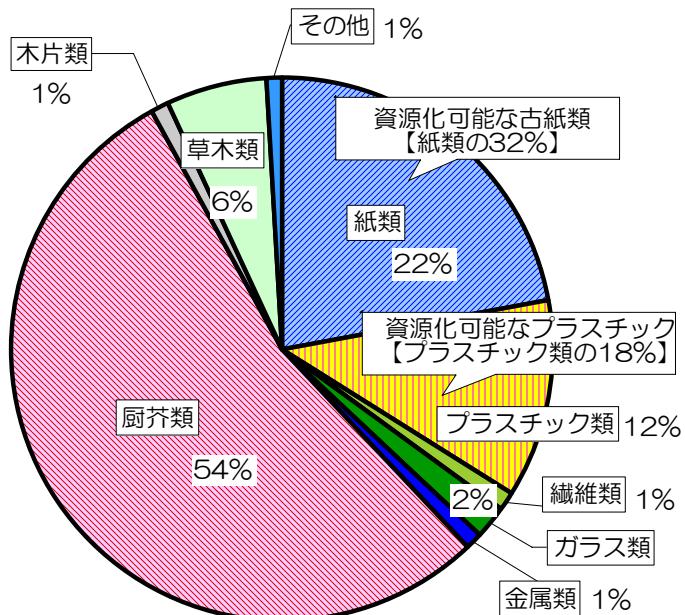
3. Recycle リサイクル 再び資源として利用する

- 秘密書類は、その再資源化方法を収集運搬許可業者、もしくは再生専門業者に相談する。
- 蛍光管、消火器等の備品類の廃棄は、納入業者を通じるなどにより、できる限りリサイクルに回すとともに、適正処理の確認を行う。



⑤ 小 売 業

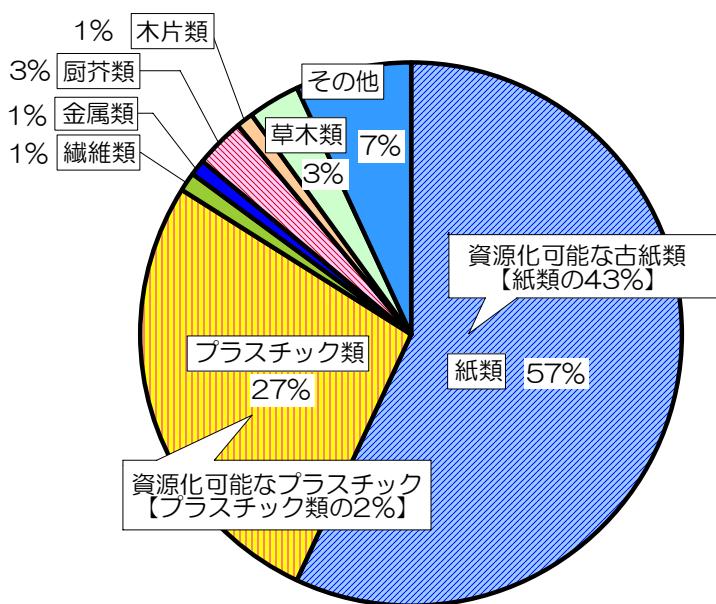
【小売業（スーパー・マーケット・コンビニ等）のごみ組成】



〔特徴〕

- 小売業（スーパー・マーケット・コンビニ等）のごみ組成では、厨芥類が最も多く54%を占めています。
- 次いで紙類も22%を占めており、これら2つで8割近くになります。

【小売業（家電量販店・ホームセンター等）のごみ組成】



〔特徴〕

- 小売業（家電量販店・ホームセンター等）のごみ組成では、紙類が最も多く57%を占めています。
- 次いでプラスチック類も27%を占めており、これら2つで8割以上に達しています。

■ 一口メモ ■

- 分別箱に入れる用紙の種類を社員に徹底してください。
- 片面しか使用していないコピー用紙を入れる専用箱を、コピー機の横に用意してください。

古紙の分別箱
※種類を分けて回収できます。



1. *Reduce* リデュース 物を大切に使い、ごみを減らす

① メーカーや卸売業者と協力しましょう！

- 過剰な仕入れや安い返品の抑制に努める。
- 商品納入用梱包材等の回収システムをメーカーと協力して構築する。
(例：食材や物品の仕入れを、繰り返し使える箱（通い箱）にする。)

② 消費者の皆さんと協力しましょう！

- 「身近で取り組む環境マナー」として、消費者に、食品を買うとき消費期限や、賞味期限が先に来る商品を選んでもらうように依頼する。
- 量り売り等、消費者が必要な数量・包装方法を選択できる仕組みを整備する。
- 消費期限が近づいている商品の値引き販売など、食品が廃棄物にならないよう販売方法を工夫する。
- マイバッグ持参時のポイント制度やレジ袋の有料制を導入し、マイバッグの持参を呼びかけてレジ袋の削減に取り組む。

2. *Reuse* リユース 物を繰り返し使う

① 資材の再利用を提案しましょう！

- 商品の試食・試飲・試用などでは、使い捨て食器・容器等の使用を控え、繰り返し使用できるものを利用する。
- リターナブルびんの飲料など、容器等のリユースが可能な商品を積極的に販売する。
- ハンガー納品を推進し、ハンガーの再利用を進める。

3. *Recycle* リサイクル 再び資源として利用する

① 物品の素材や使用方法を見直しましょう！

- 袋、容器等は再生紙製のものなど、リサイクル品を優先的に使用する。
- 発泡トレイ等は、リサイクルが容易な無着色のものを利用する。

② 消費者の皆さんと協力しましょう！

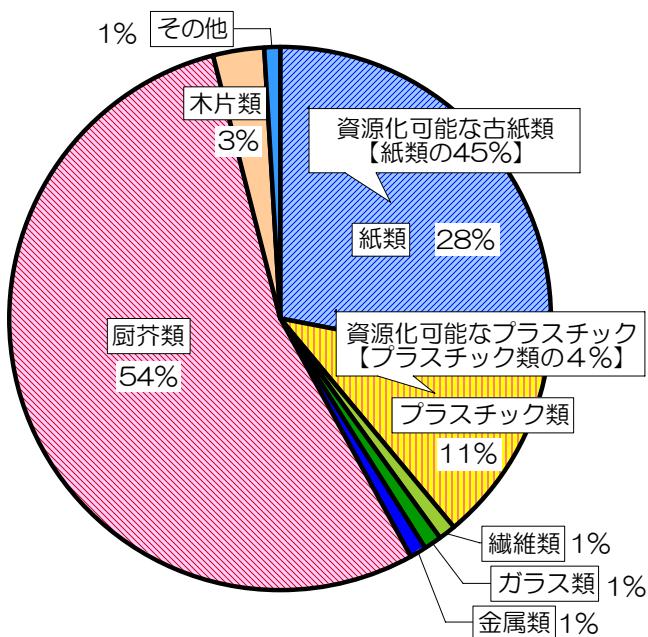
- 紙パックや食品トレイの回収拠点として、積極的な取り組みを行う。
- リサイクル商品の販売・PRに努める。
- 買い替え時の不用品の引取りを積極的に行う。

③ 食料品を廃棄されるお店では…

- 食料品を廃棄する際は、容器と内容物を分け、生ごみは飼料、及び堆肥化されるように自主的な取組を行うか、回収業者と資源化の契約をする。
- この堆肥を利用した製品の販売を促進する。

⑥ 飲食業

【飲食業のごみ組成】



〔特徴〕

- 飲食業のごみ組成では、厨芥類が最も多く54%を占めています。
- 次いで紙類も28%を占めており、これら2つで8割以上になります。
- 紙類・厨芥類などを分別し、リサイクルすることにより焼却されるごみの量を大きく減少させることができます。

1. *Reduce* リデュース 物を大切に使い、ごみを減らす

- 来客数を予測して食材を仕入れる。
- 商品納入用梱包材等の回収システムを納品業者と協力して構築する。
(例: 食材や物品の仕入れを、繰り返し使える箱(通い箱)にする。)
- 調理時にむだな生ごみを出さないため調理を工夫する。
- 注文から出来上がりまで、時間短縮するための作り置きを見直し、廃棄量を減らす。
- 食べ残しが出にくいよう、サイズ別のメニュー(ミニサイズなど)を設定する。
- 調味料は、個別に包装されたもの(例えば、スティックシュガーなど)を使用せず、詰め替え商品を使用する。
- 紙ふきんではなく布ふきんを利用する。
- 生ごみを出す前に水切りを徹底する。
(排水の処理や臭気の漏れなど生活環境に影響がないよう処置する。)

2. *Reuse* リユース 物を繰り返し使う

- 使い捨て食器・容器等の使用を控え、繰り返し使用できるものを利用する。
(例: 割りばしに代わり、洗って再使用できるはしにする。)
- 発泡スチロール製のトロ箱は、納入業者に返却して再利用に努める。

3. Recycle リサイクル 再び資源として利用する

- 容器包装、食器、割りばしその他の異物や再生利用に適さない食品廃棄物を適切に分別する。
- 飼料化は、食品循環資源の成分やカロリーを有効に活用できる手段であり、飼料自給率の向上にも寄与するため、優先的に選択する。飼料の安全性の確保には万全を期す。
- 肥料化は、利用先の確保を前提に実行する。

食品リサイクル法について

食品リサイクル法が改正されました。（平成19年12月施行）

※ 改正点は赤字で表記しています。

1. 発生抑制

生産や流通過程の工夫、消費のあり方の見直しなどにより、食品廃棄物の発生の抑制に取り組みます。

2. 再生利用

加工残さ・売れ残り・調理くず・食べ残しなどの食品循環資源を飼料や肥料、油脂や油脂製品、メタン、炭化製品（燃料または還元剤としての用途）、エタノールの原材料として再生利用します。

3. 熱回収

再生利用が困難な食品循環資源で、メタンやバイオディーゼルと同等以上の効率でエネルギーを回収できる場合に限り選択できます。

4. 減量

再生利用や、熱回収ができない場合は、脱水・乾燥・発酵・炭化により減量を行います。

食品リサイクル法では
食品関連事業者が
中心的な役割を担います。

これらの方々が食品関連事業者になります。



食品の製造・加工業者

主な業者
食品メーカーなど

食品の卸売・小売業者

主な業者
各種食品卸、百貨店、スーパー、コンビニエンスストア、ハピタスなど

飲食店および食事の提供を伴う事業を行う者

主な業者
食堂、レストラン、ホテル、旅館、結婚式場、ティナークルーズ船など

■ 目標

平成19年度の基準実施率に毎年増加ポイントを加えていきます。

（平成19年度の基準実施率は平成19年度の実績とします。平成19年度の実績が20%未満の場合は、20%として基準実施率を計算します。）

前年度の基準実施率区分	増加ポイント
20%以上50%未満	2%
50%以上80%未満	1%
80%以上	維持向上

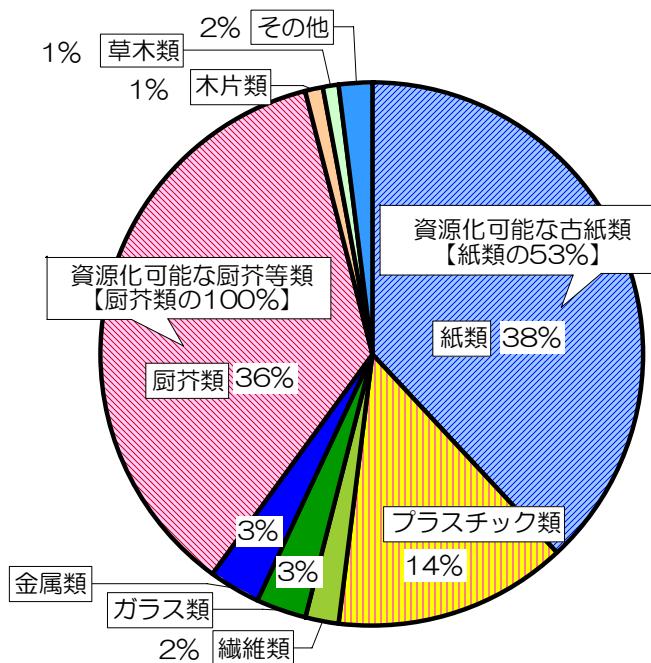
【問合せ先】

近畿農政局 生産經營流通食品課
〒602-8054 京都市上京区西桐院通り下長者町下ル
TEL. 075-451-9161 (内線) 2391
FAX. 075-414-7345

（農林水産省ホームページより抜粋）

⑦ ホテル・旅館

【ホテル・旅館のごみ組成】



〔特徴〕

- ホテル、旅館のごみ組成では紙類が38%，厨芥類が36%を占めており、これら2つを合わせると、全体の3/4に達します。いずれも分別により50%以上が資源化可能となります。
- 紙類・厨芥類などを分別し、リサイクルすることにより、焼却されるごみの量を大きく減少させることができます。

1. Reduce リデュース 物を大切に使い、ごみを減らす

① 使い捨て商品の使用を控えましょう！

- アメニティーグッズを簡素化する。
- 紙ふきんではなく布ふきんを利用する。
- 連泊客にタオル交換の要否を確認する。
- お茶などは、個別に包装されたティーバックで煎れないようにする。
- 使い捨ての仕出し用飾りの使用を控える。
- 使い捨てのランチョンマットの使用を控える。
- クリーニング後の「殺菌済み」の表示札などは、個々に貼付するのではなく、一括して掲示する。
- 石けん・シャンプーなどについて、ディスペンサー容器(必要量だけ出せる容器)を採用する。

② 生ごみを減量しましょう！

ホテル・旅館から出るごみのうち、多くの割合を占めるのは、生ごみです。この生ごみの減量により、ごみ量が大きく減ります。

- 宴会で個人の好みやお客様の年齢層にあったメニューをいくつか用意して食べ残しを極力減らす。
- 生ごみを出す前に、水切りを徹底する。

2. *Reuse* リユース 物を繰り返し使う

① リユース用品を使用しましょう！

繰り返し使えるものを優先的に利用することで、ごみの減量に大きな効果を得られます。

- 飲料は、リターナブルびんや詰替え樽の商品を購入する。
- 食器洗剤、手洗い用品などは、詰替え商品を使用する。
- コースター、はし置き等は、繰り返し使えるものを採用する。
- 家具や備品類は修理やクリーニングによる再利用を図る。

3. *Recycle* リサイクル 再び資源として利用する

① 食品廃棄物を資源化しましょう！

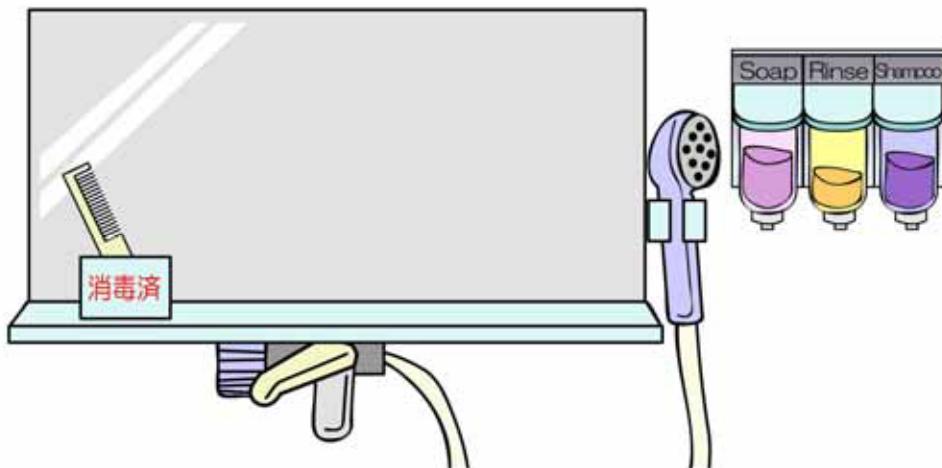
- 容器包装・食器・楊枝その他の異物や再生利用に適さない食品廃棄物を適切に分別する。
- 飼料化は、食品循環資源の成分やカロリーを有効に活用できる手段であり、飼料自給率の向上にも寄与するため、優先的に選択する。飼料の安全性の確保には万全を期す。
- 肥料化は、利用先の確保を前提に実行する。

② 宿泊客と協力しましょう！

- 部屋や館内にリサイクルボックスを設置し、ごみの分別への協力をお願いする。
- お土産を販売する場合は、簡易包装への協力をお願いする。

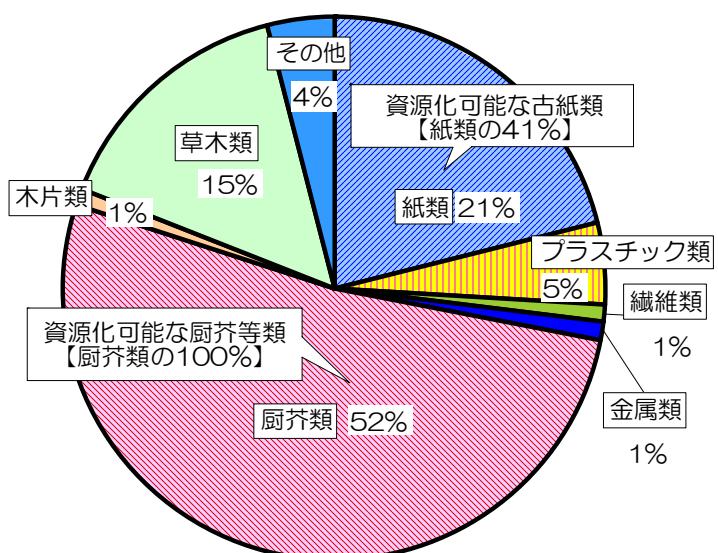
③ 備品類の廃棄はリサイクルに回しましょう！

- 蛍光管、消火器、非常灯などの多量に発生する備品類の廃棄は、納入業者を通じるなどにより、できる限りリサイクルに回すとともに、適正処理の確認を行う。
- 使用後の割りばしも、紙の原料として有効利用できます。



⑧学校・教育施設

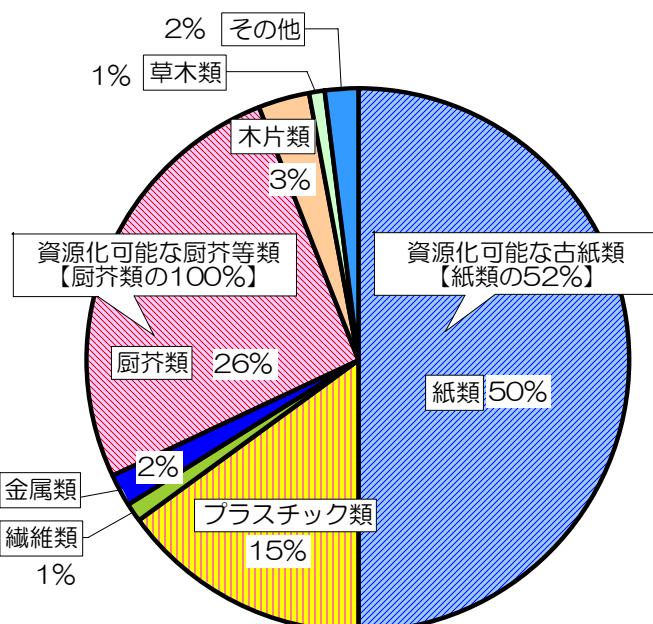
【小・中学校のごみ組成】



〔特徴〕

- 小・中学校のごみ組成では、厨芥類が最も多く52%を占めていますが、その中の9割が資源化可能な調理くず等です。
- また、紙類は21%を占めており、そのうちの半分近くが資源化可能な古紙です。

【大学等のごみ組成】



〔特徴〕

- 大学等でのごみ組成は、紙類が最も多い50%強を占めていますが、そのうちの半分が資源化可能な古紙です。
- また、厨芥類は26%を占めており、その多くは資源化可能な調理くず等です。

【リユース食器を使った昼食例】



小学校給食



中学校の委託弁当の製造過程

(京都市教育委員会HPより)

1. Reduce リデュース 物を大切に使い、ごみを減らす

【共 通】

- 児童、生徒および学生に対する環境教育を推進する。更には具体的な数値目標を設定し、ごみ減量化への取組を充実させる。
- 食堂、給食などから出る食べ残し等の残さは、水切りを徹底する。

【小・中学校】

- 栄養のみならず、調理法や配膳量などを考慮し、工夫を加味した給食の用意により、食べ残しを極力減らす。

【大学等】

- 食堂で、同一メニューの中に「大」・「中」・「小」などの、分量が選択できるシステムを取り入れる。
- 学生が使用するコピー機で、片面・両面の使用料金に差異を設ける。
(例：片面10円/枚、両面15円/枚など)

2. Reuse リユース 物を繰り返し使う

【共 通】

- 机、イス、ロッカーなどの備品類は耐久性の高いものを使用し、破損した場合は、補修することによりできるだけ長く使用する。
- 制服・学習用品や本などのリユース活動の推進。

【小・中学校】

- 繰り返し使える給食食器・はしなどを使用する。
- 古着や古タオルなどを雑巾として使うなどの工夫をする。

【大学等】

- 食堂では、繰り返し使える食器・はしなどを使用する。

3. Recycle リサイクル 再び資源として利用する

【共 通】

- 蛍光管、消火器、非常灯などの多量に発生する備品類の廃棄は、納入業者を通じる等により、できる限りリサイクルに回す。
- 校内各所に、リサイクルボックスを設置する。

【小・中学校】

- 給食残さの堆肥化を実施する。

【大学等】

- 学生用に、新聞、雑誌、コピー用紙などのリサイクルコーナーを設置する。

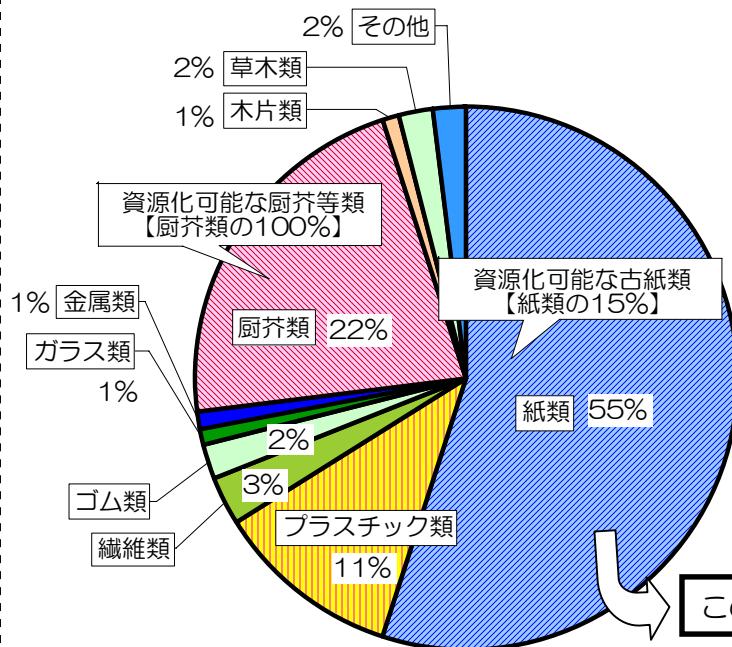
手作りの古紙分別ケースです。

※片面のみ使用
※両面とも使用
※秘密書類 等



⑨病院・福祉施設

【病院・福祉施設のごみ組成】



〔特徴〕

- 病院、福祉施設の事業系ごみ組成では紙類が55%を占めています。特に高齢者福祉施設では紙類が59%で、そのうち紙おむつが83%を占めています。
- 感染症一般廃棄物は、特別管理一般廃棄物として処理してください。

このうち、紙おむつが40%を占めている

1. Reduce リデュース 物を大切に使い、ごみを減らす

- カルテやレセプトを電算化する。
- 支払伝票を小型化する。
- 順番札は、レシートを使用しない。
- 栄養のみならず、入院・入所者の好み、量などに工夫を加味した食事を用意して、食べ残しを極力減らす。
- 食べ残し等の残さは水切りを徹底する。

2. Reuse リユース 物を繰り返し使う

- 洗って繰り返し使える布おむつを使用する。
- 耐久性が高く、修理が容易な医療機器を購入する。
- 使い回しだけの順番札を使用する。

3. Recycle リサイクル 再び資源として利用する

- 病室にもリサイクルボックスを設置する。
- 新聞、雑誌、小箱、機密性の低い事務用書類をリサイクルする。

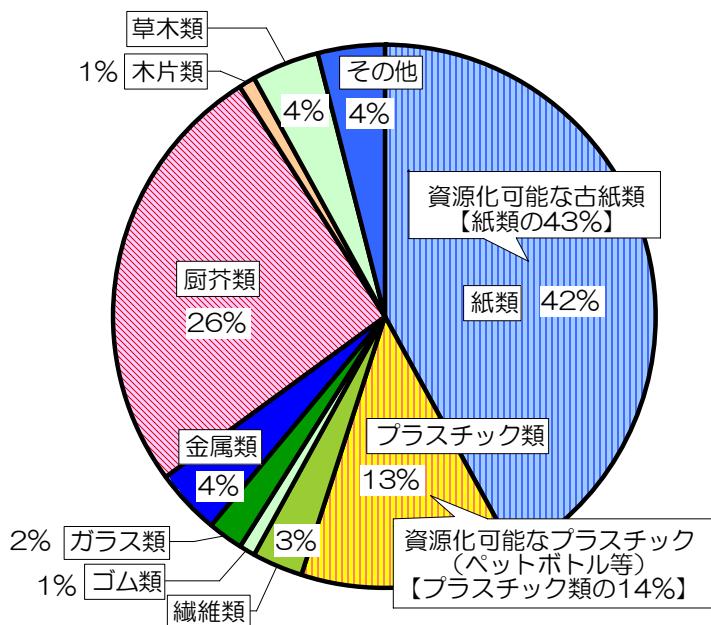
■ 一言メモ ■

【感染性一般廃棄物】

病院・診療所等から排出される一般廃棄物のうち、血液などの付着した、脱脂綿・包帯・ガーゼ・紙くずなどに感染性病原体を含む、又は付着している恐れのあるものをいいます。

⑩駅・遊戯場・文化施設等

【駅・遊戯場・文化施設等のごみ組成】



〔特徴〕

- 駅・遊戯場・文化施設等のごみ組成では、紙類が最も多く42%を占めており、その半分近くは資源化可能な古紙類です。
- 金属類については4%となっていますが、この多くは空き缶です。

1. Reduce リデュース 物を大切に使い、ごみを減らす

- ごみ箱の設置は必要最低限とする。
- 売店などでは、購入者に袋が必要であるか声掛けするなどして、レジ袋の削減に取り組む。
- すぐにごみになりやすい、チラシやパンフレットは必要数のみ製作し配布する。

2. Reuse リユース 物を繰り返し使う

- リターナブルびんや、デポジット制の商品を積極的に採用する。
- 飲食容器は、繰り返し使用できるリユース食器を採用する。
- 弁当は、使い捨てでなく、再使用できる弁当箱を扱う業者などから調達する。

3. Recycle リサイクル 再び資源として利用する

- リサイクルボックスを設置し、わかりやすく表示することにより利用者が分別排出できるようにする。
- チラシ・パンフレットの専用リサイクルボックスを設置し紙ごみのリサイクル率を上げる。
- 印刷物（ポスター、チラシ等）には再生可能な紙を採用する。
- 蛍光管、消火器および什器（イスなど）等の備品の廃棄は、納入業者を通じるなどにより、できる限りリサイクルに回すとともに、適正処理の確認を行う。